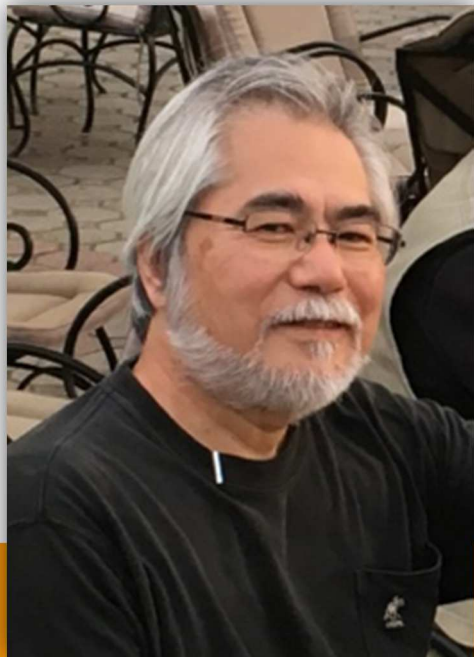


第1回講演会



「言語・社会・文化の
統括的教育実践の理論化」
という意想について

砂川 裕一 氏

(国際交流基金日本語国際センター 所長)

専門は哲学、比較文化基礎論、言語文化教育論、日本語日本事情教育論。群馬大学教授を経て現職。『変貌する言語教育ー多言語・多文化社会のリテラシーとは何か』(共編)など著書多数。

日本語教育学に関する私の課題は「言語・社会・文化の統括的教育実践の理論化」です。これは日本語の習得におけるタテ糸というべき言語・社会・文化・教育といった領域を、ヨコ糸というべき研究態度のあり方である実践・理論に織りあわせ、さらにそれらの統括を行う捉え方です。この捉え方をもとに、21世紀の日本語教育を「未知なる理論的・実践的な学問的領域」として考えてみたいと思います。



指定討論者

荒川洋平 (東京外国語大学 教授)

9月29日 (金)

17:45-19:15 (17:40開場)

於 研究講義棟101教室

入場無料／申込不要